APEK

ニュースレター

2026年度　第 3期
1月/2月

はじめに

参加型のコミュニティ、動き続ける学校

新しい年の始まりは、LFIKコミュニティにとって新たな一歩となります。交流のひととき、学校運営の重要な進展、そして将来に向けたプロジェクトを通して、学校生活はエネルギーと責任感、そして強いコミットメントのもとで続いています。これまで以上に、子どもたちの健やかな成長と、質の高い教育環境の提供が、私たちのすべての活動の指針となっています。本ニュースレターでは、学校生活に関する最新の情報、学年度末までに注意を要するポイント、そして特に学校法人（Gakkō Hōjin）取得を通じて見えてくる中長期的な展望について、分かりやすくお伝えします。これらすべての背景にあるのは、学校のバランスに目を配り、LFIKの発展に主体的に関わる、結束したコミュニティの存在です。

LFIKとその生徒たちのために、日頃よりご理解・ご協力・ご参加をいただいている皆さまに、心より感謝申し上げます。

進行中のプロジェクト

学校生活：
最近の出来事と変化

私たちのコミュニティと子どもたちの幸せは、常に最優先事項です。
昨年末は、子どもたちの発表を含むクリスマスパーティーという、心温まるひとときで締めくくられました。多くの保護者ボランティアのご協力により、180枚のクレープ、玉ねぎ20kg、鶏肉20kg、マッシュルーム大皿10皿、チョコレート170個、ケーキ200個、塩味ケーキ50個、スパイス入りアップルジュース15リットル、ホットワイン40リットルという、豪華で温かみのあるビュッフェが実現しました。また、新学期には学校でガレット・デ・ロワをご購入いただいた方もいらっしゃいました。現在、教育チームは思い出に残るカーニバルの準備を進めています。

日常的な学校運営に関しては、新たにスクールナースとしてロマーヌ・アヴィニョン氏をお迎えしたことをお知らせできることを嬉しく思います。必要に応じて、生徒生活部で対応いたします。また、以下のメールアドレスでもご連絡いただけます：
infirmerie@lfikyoto.org.

本年度は、学校の組織体制においても重要な節目の年となります。現校長であるボリス・コラン氏の任期最終年度にあたり、来月中には後任者が発表される予定です。この移行に伴い、次年度に向けた人事異動についても、順次見通しをお知らせしていきます。教育の継続性と質の確保を最優先に進めてまいります。

これらの出来事や変化は、教育コミュニティの活力と、生徒の健やかな成長を支える集団的な取り組みを象徴しています。

学年度末に向けて：
注意点とコミュニティの協力

今後数か月は、いくつかの重要な課題に対して特に注意が必要です。物価上昇が続く中、学校の予算は非常に繊細なバランスの上にあり、慎重に管理されています。

現在、お弁当サービスおよび長期休暇中に提供しているホリデーキャンプへのお申込みが減少しており、特に後者については、現在財政的に厳しい状況にあります。こうした解約の理由をより正確に把握し、ご家庭のご期待にできる限り沿った形でサービス内容を調整していくため、お弁当サービスおよび長期休暇中のホリデーキャンプに関するアンケートへのご協力をお願い申し上げます（「コミュニティへの呼びかけ：皆さまのご協力をお願いします」の段落をご参照ください）。

このような状況の中、コミュニティの連帯は大きな支えとなっています。専門知識を活かして学校を支えてくださっている保護者ボランティアの皆さまに、心より感謝申し上げます。現在、ある保護者の方がLFIKのウェブサイトのSEO（検索、エンジン最適化）改善に取り組み、学校の認知度と魅力向上を支援してくださっています。また、別の方は、古くなった広報資料のデザイン刷新を提案してくださいました。これらの取り組みは、人の面でも財政面でも非常に貴重であり、コスト削減にもつながっています。

最後に、大阪プロジェクトについてご安心ください。本プロジェクトは現在も検討段階にあり、候補地の視察や、大使館・領事館・AEFEなどの関係機関との定期的な協議を継続しています。すべての条件が整い、LFIKの通常予算とは完全に独立した財源が確保された場合にのみ、実行される予定です。

2026年に向けて：学校法人
（Gakkō Hōjin）
取得という重要な節目

2025年3月の申請書類の提出後、二度の京都府による学校検査を経て、12月には私学審議会による認可適当との判断が下りました。正式な認可証は今月交付される見込みとなっています。これを受け、2026年4月1日の学校法人開始に向けた準備を現在進めております。

教育活動を行う非営利の法人として法的な地位を得ます。また、一般の就学児童と同じように、本校の生徒たちも、早ければ今年後半、または来年度から、公共交通の通学定期を購入することができるようになります。

東京国際フランス学園と同じように、フランス教育省による全学年の普通学級認定、そして日本の文科省による教育機関としての認可、これら双方を得ることで、日仏両国のさまざまな分野において本校の存在感が高まっていくことが期待されています。

学校を振り返って：保護者・フェット委員会メンバー　ペランさんの声

私たちは2019年に、駐在員として2人の子ども（当時CM2と4e）とともにLFIKに来ました。当時、学校の生徒数は約170人でした。私たちは約2,000人の生徒が在籍するドバイの大規模な学校から来たため、その違いはとても大きく感じられました。到着してすぐに、学校の運営陣から温かく迎えていただきました。子どもたちはすぐに学校に馴染み、友だちを見つけることができました。その直後に、新型コロナウイルスの影響で国境が閉鎖されましたが、このような特別な状況の中でも、学校は変わらず、安心できる大きな支えであり続けてくれました。

私は早い段階から学校生活に関わるようになりました。最初は運営委員会（Comité de Gestion）に参加し、その後は主に、エネルギーあふれるバルバラ・ルメールとともにフェット委員会に関わりました。2年間積極的に活動し、その後も予算や運営面で運営委員会と連携しながら関わり続けてきました。クリスマスや年末の行事はもちろん、子どもたちと一緒に行った「味覚の週間」での料理活動、カーニバルのブニェ作り、関西日仏学館のマルシェ、そして最近では地域と一緒に行った料理ワークショップなどです。

特に印象に残っているのは、小学校の先生であるベンフェラ先生と一緒に行った「味覚の週間」です。テーマはスイスでした。義理の両親がスイスのチーズを送ってくれて、私たちはチーズのパイやパペ・ヴォドワを作りました。子どもたちは驚くほど喜んで、すべて食べてくれました。先生はとても充実した発表を準備してくださり、子どもたちは本当に熱心に取り組んでいました。とても美しい共有の時間でした。

また、ガシニャール先生の取り組みの一つにも、特に心を打たれました。この場を借りて、心から感謝したいと思います。子どもたちに環境への意識を持たせたいという思いから、菜園活動を行い、有機農業の専門家と出会い、じゃがいもを植え、後に収穫し、それをみんなで料理して食べる——私はこれを本当に素晴らしい取り組みだと思います。私にとって、これは「これからの学校」の姿です。

これらすべての行事や共有の時間に参加できたことを、心から嬉しく思っています。子どもたちの笑顔を見ること、新しいことを発見すること、保護者ボランティアとシンプルで温かい雰囲気の中で一緒に活動すること、そして最終的にはすべてが子どもたちのために行われていると実感できること。それが私の一番の原動力でした。こうした時間を通して、保護者、先生方、学校スタッフ、日本人・フランス人コミュニティの方々とも強い絆を築くことができました。私たちはもうすぐこの地を離れますが、ここで出会った何人かの方々とは、これからもつながりを保ちたいと思っています。

年月とともに、保護者ボランティアの輪が広がっていくのを見てきました。特に、バルバラ、日本人のお母さんたちの参加を積極的に支えてきたアンナ、そして運営委員会のアニェスの尽力によるものだと思います。もっと多くの保護者の方に、ぜひ一歩踏み出して関わってほしいと思います。誰でも歓迎ですし、ほんの少しの参加でも大きな意味があります。それは子どもたちにとっても、学校の生活にとっても欠かせないものです。
もし小さな心残りがあるとすれば、以前はもっと保護者が関われるお祭りの時間があったことです。生徒たちが校庭で作ったカートのレースや、中学・高校の先生も含めて全員が仮装していたハロウィンなどです。こうした共有の時間が、今後また大切にされ、学校の精神として生き続けていくことを願っています。

学校は年々大きく変化してきました。私たちが来た当初は駐在員家庭は少なかったのですが、コロナ後にはさまざまな国籍の家庭が増えました。それは特に国際的な面で、学校に多くの豊かさをもたらしました。学校は成長し、新しい先生方が新しいアイデアとともに加わりましたが、それでもなお、安心感があり、先生方との距離が近い学校であり続けています。学校がこれからも発展していく中で、このアイデンティティが守られていくことを願っています。

最後に、私たちがしてきたことはすべて、子どもたちのためです。それが一番の目的です。

レシピ

スパイス入りホットアップルジュースのレシピ

分量：　5〜6杯分
所要時間：　25分
下準備：　5分
加熱時間：　20分

材料

りんごジュース　1リットル
シナモンスティック　2本
八角　2個
クローブ　3粒
オレンジ　2個
レモン　1個

簡単レシピ

- フルーツの下準備：　オレンジとレモンをよく洗って水気を拭き取り、皮付きのままくし形に切ります。
- 材料を混ぜる：　鍋にりんごジュースを注ぎ、オレンジとレモン、スパイスを加えます。
- 加熱する：　沸騰させたら蓋をし、弱火で約15分間じっくりと煮出します。
- 完成：　カップに注ぎ、熱々のうちにお召し上がりください。

Bonne dégustation!

ホットワイン（ヴァン・ショー）のレシピ

分量：　5〜6杯分
所要時間：　25分
下準備：　5分
加熱時間：　20分

材料

赤ワイン　1リットル
シナモンスティック　2本
八角　2個
クローブ　3粒
オレンジ　2個
レモン　1個
砂糖　100g

簡単レシピ

- フルーツの下準備：　オレンジとレモンをよく洗って水気を拭き取り、皮付きのままくし形に切ります。
- 材料を混ぜる：　鍋に赤ワインを注ぎ、オレンジとレモン、砂糖、スパイスを加えます。
- 加熱する：　沸騰させたら蓋をし、弱火で約15分間煮出します。
- 完成：　カップに注ぎ、温かいうちにお楽しみください。

Bonne dégustation!

予定表！

2月12日（木）	朝の交流会：8:00〜9:30、LFIKにてコーヒーを囲んで交流
2月19日（木）	LFIK カーニバル
3月上旬	学校法人の登記
3月中	AEFEによる新校長の発表

コミュニティへの呼びかけ、皆さんの協力が必要です！

お弁当アンケート：ご意見をお聞かせください
「お弁当」アンケートは　👉 **こちら**

長期休暇中の学童保育に関するアンケート：皆さまのご意見がとても重要です
「長期休暇中の学童保育」アンケートはこちらからご覧ください は 👉 **こちら**

2月19日　カーニバル：ボランティア募集
幼稚部・小学校の児童向けに開催されるカーニバルでは、パレードの引率などに保護者ボランティアのご協力が必要です。ぜひご参加ください。

3e（中学3年生）職場体験：受け入れ先募集
毎年、3年生の生徒は2月または3月に、企業での3日間の職場体験（観察実習）を行う必要があります。教育チームの支援にもかかわらず、受け入れ先が見つからない生徒が一部います。来年度、受け入れをご検討いただける保護者の方は、ぜひお知らせください。窓口は副校長のジュリアン・テイヨンが担当します。jteillon@lfikyoto.org.

京都市アンケート：皆さまのご意見がとても重要です
京都市は在京都外国人コミュニティを大切にしており、特にLFIKコミュニティの皆様と、より一層の連携を深めたいと考えています。その一環として、現在アンケートの準備が進められており、近日中にご参加いただくためのリンクが送付される予定です。ぜひご協力をお願いします。このLFIKの魅力を広く発信する絶好の機会への、皆様のご参加をお待ちしております。

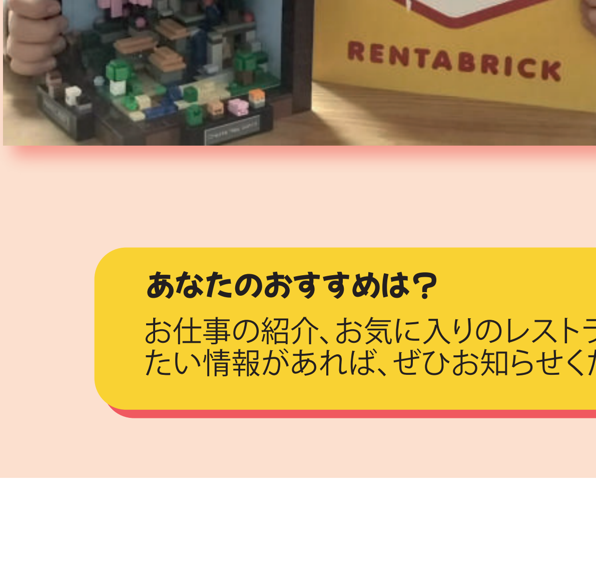
NEW：京都のおすすめ情報を共有します！

RentaBrickをご存じですか？

RentaBrickは、2025年に京都在住のフランス人によって設立された、LEGO®のサブスクリプション型レンタルサービスです。LEGO®ファンのご家庭がよく直面する「価格の高さ」と「自宅での保管・収納の問題」、この2つの課題をシンプルに解決します。月額制で、好きなLEGO®セットを選び、ご自宅で組み立てて遊ぶことができます。遊び終わったらセットを分解して返送し、次のセットを楽しむことができます。その結果、家が片付いたまま、予算も管理しやすく、常に新しいモデルを楽しめます。

現在、京都フランス人学 のご家庭向けに、**Adventureプランの初月が50%割引**となる特別オファーをご用意しています。

初月は¥1,990、契約期間の縛りはありません。割引コード:**LFIK500FF**。
詳しくは　👉 **こちら**



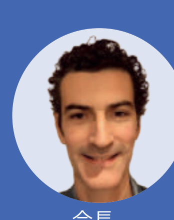
あなたのおすすめは？
お仕事の紹介、お気に入りのレストランやカフェなど、LFIKコミュニティと共有したい情報があれば、ぜひお知らせください。**acattelan@lfikyoto.org**！

APEKと京都国際フランス学園への日頃からのご支援・ご協力に心より感謝いたします。皆さまの関心と参加が、私たちのコミュニティを支えています。ニュースをフォローし、プロジェクトに関わり、そしてそれぞれの形で京都国際フランス学園を「ともに学び、ともに育つ」心地よい場所にしてくださっていることに、心より感謝申し上げます。

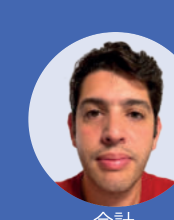
運営委員会

A.P.E.K
Association des Parents d'Élèves du Kansai

の運営委員会は、年間を通じて皆様のご意見をお伺いしています。

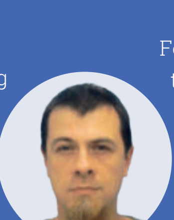


会長
Xavier CARCELLE
apek.president@lfikyoto.org



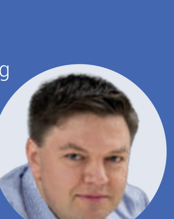
会計
Federico ZYLBERGLAJT
tresorier@lfikyoto.org

書記
Kae DEBAYLES-OKI
secretaire@lfikyoto.org

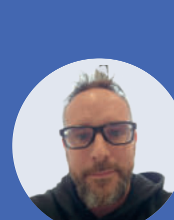


Grégory PURET
gpuret@lfikyoto.org

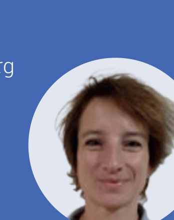
Romain RALLU
rrallu@lfikyoto.org



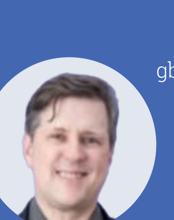
Glen BEDJANIAN
gbedjanian@lfikyoto.org



Guillaume LEQUIME
glequime@lfikyoto.org



Agnès CATTELAN
acattelan@lfikyoto.org



Julien BOGAERS
jbogaers@lfikyoto.org